

## 第10章 広報活動の概要

### 10.1 JICA 技術交流会

#### (1) JICA 技術交流会(勉強会)の経緯

- ・JICA 協力事業の発掘・形成・円滑な実施にあたり、多様な関係者との協議を円滑に行うことが必要。については JICA 職員全体の技術的素養の向上が必要。
- ・上記を目的に、「技術系交流プラットフォーム」を 2024 年 8 月に発足。
- ・活動の主は JICA 内を対象として、具体技術に関する勉強会の開催
- ・上記の勉強会の一つとして、JICA より要請を受けて、開発途上国の組積造の課題とそれへの対応方策として本プロジェクトのコンクリートブロック工法についての発表を、檜府が行った。

#### (2) 勉強会の概要

- ・主催: JICA インフラ技術業務部
- ・日時: 令和7年 11 月 17 日 14時～15 時
- ・開催形式: オンライン配信
- ・参加人数: 約 30 名
- ・発表内容: タイトル「開発途上国の地震被害の主要要因(組積造)と日本の技術の活用可能性＜フィリピンでの実践例＞」

- 構成
1. 開発途上国の組石造建築物の地震被害
  2. 日本の補強空洞コンクリートブロック構造の概要と特長
    - 日本の空洞コンクリートブロック構造技術の概要
    - 空洞コンクリートブロック造の津波、洪水に対する強靱性
    - 日本における補強コンクリートブロック造技術の導入と改善
    - 日本の補強コンクリートブロック構造の特長
  3. フィリピンを中心とした日本の技術に基づく取り組み

### 10.2 日本建築学会大会への投稿

#### (1) 趣旨

本プロジェクトについて、活動概要、技術ガイドラインの概要とフィリピンにおける制度的な位置づけと意義、社会実装へ向けての取り組み、世界的な視野からの展開の事項について、建築関係者に広く周知を図るため、2025 年度建築学会大会(2025 年 9 月福岡にて開催)にて梗概の発表を行う。その場合、本プロジェクトに多大の協力をいただいている建築学会災害本委員会地震防災海外協力小委員会の委員との共著を予定している。

#### (2) 2025 年度学会大会

日時:2025年9月9日(火)～12日(金)

場所:九州大学伊都キャンパス(福岡市西区元岡744)

### (3) 投稿の概要

下記の5編の梗概の発表を行った。

#### \* 論文タイトル

日本の技術の海外への展開支援の調査研究<フィリピンにおける安全な補強コンクリートブロック造の普及>

その1:背景、目的及び概要

その2:技術ガイドラインの位置づけと意義

その3:低層用壁式構造ガイドラインの特徴

その4:フィリピンにおける社会実装を目指した活動

その5:国際的な視野での今後の展開の展望

#### \* 著者:

##### ・本プロジェクト実行委員

石山 祐二、檜府 龍雄、米澤 稔、青野 洋之

##### ・同支援委員

植松 武是、西川 忠、白川 和司

##### ・同専門委員

松崎志津子、戸成 建人

##### ・オブザーバー

時田 伸二(建築学会災害本委員会地震防災海外協力小委員会の委員)

##### ・事務局

吉野 利幸



九州大学伊都キャンパス



本投稿の発表セッションの状況

#### (4) 2026 年度学会大会での投稿予定

2026 年度大会において、引き続き本プロジェクトで 7 実施した、コンクリートブロック製造時に、締固め、養生の強度に与える影響についての実験結果に関する以下の梗概の発表を予定している。

\*2026 年度建築学会大会

日時:2026 年 9 月 8 日(火)~9 月 11 日(金)

場所:安田女子大学(広島県広島市安佐南区安東 6 丁目 13 番 1 号)

\*論文タイトル(案)

日本の技術の海外への展開支援の調査研究<フィリピンにおける安全な補強コンクリートブロック造の普及>

その6:適正品質のブロック製造についての調査研究の概要

その7:日本国内におけるコンクリートブロックの試験の概要

その8:フィリピンにおけるコンクリートブロックの試験の概要

その9:参考となる試験の概要

その10:試験結果の分析、検討

(檜府龍雄)